

レース報告書

2026 SUPER GT 第7戦

オートポリス

10月17日（土）予選 天候：晴 （観客動員数：12,000人）

10月18日（日）決勝 天候：晴 （観客動員数：18,000人）

予選結果

Q1：1位

Q2：1位

予選レポート

菅生大会ではポールポジションを獲得し、確かな速さを示しながらも、決勝ではその実力を結果に結びつけることができなかった。第7戦の舞台は、九州で唯一の開催地となるオートポリス。シーズンも終盤に差しかかるなか、悲願の表彰台獲得へ向け、チームは一丸となってこの大会に臨む。

予選日は青空が広がるドライコンディションのもとで公式練習が行なわれ、その後の公式予選に挑んだ。Q1はイゴール・オオムラ・フラガが担当し、入念にタイヤを温めてからアタック。3戦連続となるQ1トップタイムを記録し、Q2進出を決めた。Q2では熾烈なポールポジション争いが展開されるなか、Modulo Nakajima Racingは大草りきがアタックを担当し、2戦連続となるポールポジションを獲得した。

コメント

代表：中嶋 悟

「みんなが頑張った結果です。嬉しいです！明日は何があってもいいように、しっか

り準備して臨みたいと思います」

監督：伊沢 拓也

「シーズン終盤戦に入り、ライバル勢のサクセスウェイトの状況などを考えれば、自分たちが速いのは当然だと思っています。ポールポジションを獲ることは、絶対にクリアしなければならない仕事の一つでした。今日はチームもドライバーも、それをきっちりこなしてくれたので、非常に良い一日になりました。今回は新しいタイヤを持ち込みましたが、それがうまく機能してくれました。また、フリー走行をあまり走れず、赤旗終了によって最後のタイムアタックができなかった大草選手もよく頑張ってくれました。大事なのは明日の決勝です。最後までこの良い形を維持し、気持ちよく終わられるように頑張ります」

大草 りき

「アタックラップでは、セクター1が全体ベストではなかったので、周りからすると少し不安に見えた部分もあったかもしれません。ただ、僕自身はセクター2と3に焦点を当てていました。狙い通り、その2つのセクターで大きくタイムを削り、ポールポジションを獲ることができたので良かったです。明日は3時間の長いレースなので、さまざまな展開が考えられると思います。ライバル勢は、積んでいるウェイトの影響がじわじわ効いてくると思うので、僕たちは軽快に走りたいです。予報通りであれば、明日のコンディションも自分たちが望む状態に近づきそうです。もちろん、実際に走ってみたいと分からない部分もありますが、自分たちのベストを尽くして戦いたいと思います」

イゴール・オオムラ・フラガ

「今回は、これまで使ったことのないタイヤを投入しています。フリープラクティスでの感触は良く、テストで調子が良かったとはいえ、ライバル勢と一緒に走ることでタイヤのゴムがコース上に乗るため、本番でどうなるかという不安はありました。ただ、状況への対応幅が広く、予選でも周りと同じような手順でタイヤをウォームアップできました。その点は、明日の決勝でも力になってくれればと思います。本番で走ってみたいと分からないことはまだまだたくさんあります。まずは自分たちにできることをやり尽くし、悔いのないレースにできればと思います。そのために、明日も頑張ります」

決勝結果

12 位

決勝レポート

決勝日も汗ばむほどの秋晴れとなり、九州の SUPER GT ファンがスタンドを埋め尽くすなか、3 時間レースのスタートを迎える。Modulo Nakajima Racing のスタートドライバーはフラガ。熊本県警によるパレードラップ、フォーメーションラップを経て、ポールポジションからスタートすると先頭を守ってレースを進めていく。30 分を過ぎた 23 周目に後続のマシンにパスされ 2 番手に。翌 24 周目にはアクシデントがあり、セーフティカーが導入され、29 周目にリスタート。レース開始から 1 時間が経過した 33 周目にフラガはピットインを行なう。タイヤ交換、給油、大草にドライバー交代を行ないコースに復帰する。ペースが上がらない苦しい走行が続く大草だったが、懸命に周回を重ね、GT500 クラスの全車が 1 回目のピットインを終えた 1 時間 25 分経過頃、大草は 10 番手争いを展開。何とか踏ん張って周回を重ね、2 回目のピットタイミングを迎える頃には 5 番手を走行する。57 周目に 2 回目のピットインを行ない、タイヤ交換と給油を終えて、大草がそのままコースへ復帰したが、ポジションは 14 番手まで後退。その後も挽回を目指して走行を続け、残り 30 分を切る頃には 13 番手に。残り数分のところでストップしたマシンがあり、最終的に 12 位フィニッシュとなった。

コメント

代表：中嶋 悟

「3 時間を戦い抜きましたが、厳しいレースになってしまいました。決勝については、まだまだ課題が多いと感じています。残りは、もてぎでの 1 大会 2 レースのみとなりましたが、笑って終わられるシーズンにできるよう頑張ります。たくさんのご声援をあ

りがとうございました」

監督：伊沢 拓也

「最初のスティントを担当したイゴール選手は、ペース的に苦しいところもありましたが、しっかりと役割を果たしてくれました。1 回目のセーフティカーは自分たちにとってあまり有利には働きませんでした。2 回目のセーフティカーは逆にいいタイミングとなり、その点については差し引きゼロだったと思います。ただ、第 2 スティントの大草選手のところでは、想像以上にピックアップに悩まされてしまいました。苦しい時間が長く続き、大草選手には申し訳なかったです。オートポリスは昨年いいレースができていただけに、ここまでうまくいかないとは正直想像していませんでした。まだ原因をはっきりとは言えませんが、今シーズンも残りはあと 1 大会です。ドライバーが気持ちよくレースができるような準備をして、最終戦に臨みたいと思います」

大草 りき

「根本的なペースも足りなかったと思いますし、僕のスティントではピックアップをうまく取り切れず、苦しいレースになりました。正直、勝負をさせてもらえないような感覚でした。今は悔しいの一言です。ダンロップさんと一緒に戦えるレースも、残り 1 大会 2 レースとなりましたが、なんとかいい形で締めくくれるよう全力を尽くします」

イゴール・オオムラ・フラガ

「最初の 5 周くらいはペースが良かったのですが、そこからはピックアップが付いたり取れたりする状況を繰り返していました。GT300 クラスが絡んでくるとラインを外さなければならず、そこでペースが落ちると、GT300 をかわす際のタイムロスも大きくなってしまおうという展開でした。耐えるレースだったと思いますし、純粋なペースも足りませんでした。最終戦までの時間は限られています。どこまでできるかは分かりませんが、今回のレースをしっかり分析して臨みたいですね。あきらめず、やれることをすべてやって最終戦に挑みたいと思います」

※次戦は 11 月 7 日・8 日にモビリティリゾートもてぎで開催されます。

■公認: 国際自動車連盟 (FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) ■認定: 株式会社GTアシエーション (GTA) ■後援: 経済産業省 / 国土交通省 / 自由民主党モータースポーツ振興議員連盟 / 大分県 / 熊本県 / 日田市 / 別府市 / 竹田市 / 由布市 / 阿蘇市 / 菊池市 / 大津町 / 小国町 / 南小国町 / 日田市観光協会 / 大分市観光協会 / 竹田市観光ツーリズム協会 / 別府市観光協会 / 由布市まちづくり観光局 / 阿蘇市観光協会 / 菊池観光協会 / 肥後おおづ観光協会 / ASOおぐに観光協会 / 南小国町観光協会 / 阿蘇温泉観光旅館協同組合 / 国土交通省九州運輸局



Autopolis International Racing Course (4,674m)

GT500 QUALIFYING OFFICIAL RESULT

2026/10/17 17:27
Weather: Sunny
Track: Dry

Pos	No	Car / Team	Driver Name	Q2 Time	Lap	Q1 Time	Lap
1	64	Honda HRC PRELUDE-GT Modulo HRC PRELUDE-GT	Riki Okusa Igor Omura Fraga	1'32.414	4 / 4	1'32.550	4 / 4
2	17	Honda HRC PRELUDE-GT Astemo HRC PRELUDE-GT	Koudai Tsukakoshi Yuto Nomura	1'32.799	4 / 4	1'33.441	4 / 4
3	19	TOYOTA GR Supra GT500 WedsSport BANDO GR Supra	Yuji Kunitomo Sena Sakaguchi	1'32.885	4 / 4	1'33.297	4 / 5
4	100	Honda HRC PRELUDE-GT STANLEY HRC PRELUDE-GT	Naoki Yamamoto Tadasuke Makino	1'32.949	4 / 4	1'32.957	4 / 4
5	12	Nissan Z NISMO GT5 TRS IMPUL with SDG Z	Kazuki Hiramine Bertrand Baguette	1'33.072	4 / 4	1'33.287	4 / 4
6	38	TOYOTA GR Supra GT500 KeePer CERUMO GR Supra	Toshiki Oyu Rikuto Kobayashi	1'33.121	4 / 4	1'33.253	4 / 4
7	16	Honda HRC PRELUDE-GT #16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	Tomoki Nojiri Ren Sato	1'33.124	4 / 4	1'33.458	4 / 5
8	36	TOYOTA GR Supra GT500 au TOM'S GR Supra	Sho Tsuboi Kenta Yamashita	1'33.268	4 / 4	1'33.454	5 / 5
9	23	Nissan Z NISMO GT500 MOTUL Nittera Z	Katsumasa Chiyo Mitsunori Takaboshi	1'33.270	4 / 4	1'33.577	4 / 4
10	37	TOYOTA GR Supra GT500 Deloitte TOM'S GR Supra	Ukyo Sasahara Giuliano Alesi	1'33.877	4 / 4	1'33.394	4 / 4

*****The above was decided in Q2(以上Q2により決定)*****

11	24	Nissan Z NISMO GT500 REALIZE CORPORATION Z	Teppei Natori Atsushi Miyake			1'33.580	4 / 4
12	8	Honda HRC PRELUDE-GT #8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	Kakunoshin Ohta Hiroki Otsu			1'33.585	4 / 5
13	14	TOYOTA GR Supra GT500 ENEOS X PRIME GR Supra	Nirei Fukuzumi Kazuya Oshima			1'33.695	4 / 4
14	39	TOYOTA GR Supra GT500 DENSO KOBELCO SARD GR Supra	Yuhi Sekiguchi Sacha Fenestraz			1'34.315	4 / 4

Q1: Start Time : 15:03'00 Finish Time : 15:13'00 / Q2: Start Time : 15:41'00 Finish Time : 15:51'00

Chief Timekeeper : Tsuyoshi Kurosaki

黒崎 豪

Clerk of the Course : Yuya Hirakida

平木 雄大

Chief Steward : Masao Mizuno

水野 雅男

Series Title Sponsor — Series Partner —

Series Sponsor —



